

拝啓 今年も早や3月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。家の近所では、木蓮がほぼ咲き終わり、桜のつぼみがほころんでいます。この便りが届くころには東京・横浜周辺では桜が満開になっていることと思います。

今回は、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用の第17回目、最終回です。出典の「語録」は、小西先生が通われていた同志会に残されている金曜会ノートから、同志会100年記念事業として、同志会卒業生の村上瀏治さんが清書されたものです。数回引用するつもりで始めましたが、心に響く言葉が多く記されていたため、17回も連載してしまいました。高円寺東教会で残されている聖書の講解説教と共に、説教の真の意味を理解するために参考になる実に素晴らしい「語録」であったと思います。先月号にも書きましたが、すぐれた宗教家の教えは、このような周りにいた人が書きとめた語録によって後世に伝わるものかと思いました。引用を許可された同志会と清書された村上瀏治さんに心よりお礼を申し上げたいと思います。

2月27日、土岐隆の母親の土岐泰子さんが91歳で亡くなられました。泰子さんは、晩年認知症になり、横須賀のケア付き老人ホームで過ごされました。葬儀の日、納棺の前、湯灌の式に立ち会いました。彼女のこれまでの生涯の御苦労と自分の後に遺される息子土岐隆、妻土岐泰子のために万全の備えをして先に亡くなられた土岐元米さんを偲び、涙が流れました。

3月12日(土)と3月21日(月)、2回も山に行きました。3月12日は、山中湖奥の石割山(1414m)と3月21日は、入笠山(1955m)でした。石割山は、毎年1月に新年山行として登っている山ですが、今年は12月に心臓ステント手術をしたため、3月に延ばしました。入笠山は、八が岳の正面、中央線茅野の手前にあり展望がよいことで有名な山です。その日、天気予報では、晴れのはずでしたが、昼ごろまで曇りで、山山の展望はありませんでした。残念に思いながら、頂上でゆっくり昼食をとっているうちに晴れてきて、北アルプス、中央アルプス、八が岳とまわりの山々が突然見えるようになったのは感激でした。頂上に1時間半もいて、双眼鏡で、穂高、槍、立山、劔、鹿島槍、白馬などの山々を確認しました。

もうすぐ本格的な春です。皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成28年3月26日

山口周三

エンカウターの読者各位